

真庭市防災マップ

Maniwa City Disaster Prevention Map

2 八束

災害はいつ起こるかわかりません。もしものとき、家族や自分の命を守るためにも日ごろから避難経路を確認したり、防災グッズを準備しておきましょう。



災害への心構え【真庭市について】

真庭市は平成17年に5町4村の合併により誕生しました。中国山地のほぼ中央にあたる県北部に位置し、岡山県の三大河川の一つである旭川が市域のほぼ中央部を支流と合流しながら南下し、その流域には自然が生み出した景観、観光資源が豊かに広がっています。特に、蒜山高原や湯原温泉、神庭の滝など、県内有数の魅力的な観光資源に恵まれています。

過去の災害について

平成30年(2018年)7月豪雨では九州から東北にかけて、広範囲で断続的に非常に激しい雨が降り、西日本各地で平成最悪の豪雨災害とされる甚大な被害となりました。真庭市内でも一部地域で河川の氾濫が発生し、住家の倒壊や床上浸水等の被害をまたらしました。

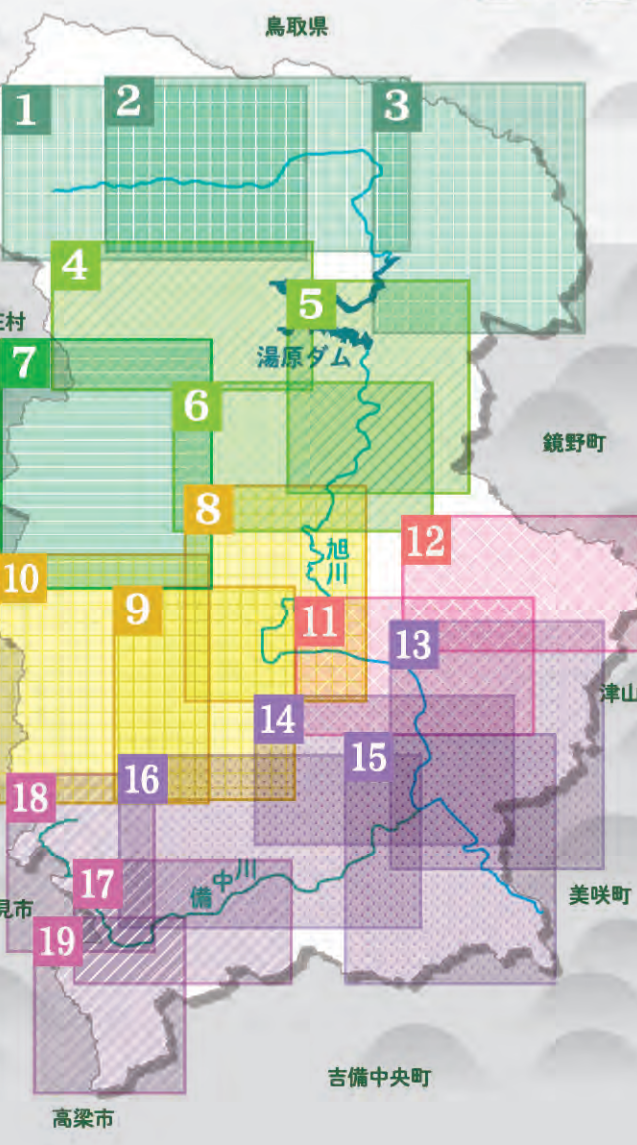
真庭市 月田本(平成30年7月)



過去には台風や集中豪雨により、大規模な土砂災害が発生しています。自然災害はいつでも発生するかわからないため、普段から災害に対する備えや知識を身につけることで、命を守り、被害を最小限に食い止めましょう。

真庭市の地形と気候

- ・南北に長く標高差が大きい地形。
 - ・北部は気温が低く、雨量、積雪がともに多い積雪寒冷地帯及び豪雪地帯。
 - ・南部は温暖少雨の内陸性気候。
 - ・山間部は急峻な地形。
 - ・山際や河川に沿って集落も多く、台風や豪雨による土砂災害、河川の氾濫など、住まいにもたらす危険性が高い。
- 地図上の数字はハザードマップの番号です。



日ごろからの備え【避難用品の備蓄・情報の入手先・連絡先】

被災後に備える

- 電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存のきく食糧などを備蓄しておきましょう。大規模災害発生時には、「7日間分」の備蓄が望ましいとされています。
- 防災のために特別なものを用意するのではなく、普段からちょっと多めに食材やレトルト食品を買い置きし、食べかたを買い足し、備蓄していく「ローリングストック法」により、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として活用できます。

自力で7日間を過ごす備え

- 非常食品** 安全を確認した自宅での生活や避難所に持ち出せるものを備蓄
- 生活用品** ライフラインが戻らない自宅や避難先での生活のために準備
- 感染症対策** 避難所に密になるため準備
- 避難用品** 身の安全を守るための情報収集や生活必需品の準備

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
冷蔵庫の中や、買い置きしている普段の食材を工夫して食べる(野菜、冷凍食品など)	買い置きのレトルト食品などのストックを食べる	保存食を食べる				

防災情報の入手先

おかやま防災ポータル (Multilingual)
岡山県内の気象情報、避難情報、河川水位情報、河川カメラ情報などをリアルタイムに確認することができます。
URL: <https://www.bousai.pref.okayama.jp>

おかやま防災情報メール (Multilingual)
登録することで、気象台が発表する大雨、洪水等の警報、注意報や、岡山県内で観測された雨量、河川水位、潮位など最新の防災情報がメールで配信されるサービスです。
URL: <https://www.w3.bousai.pref.okayama.jp/>
(登録無料)

困った時の対応・連絡先

警察 Police Department
110 事件・事故がおきた!

消防 Fire Department
119 火事が発生した! 大ケガをした!

災害用伝言ダイヤル (安否確認)
171 録音するときは 1 再生するときは 2
※ガイダンスが流れるので、その指示に従って落ち着いて録音・再生してください。

真庭市の連絡先

真庭市役所 Maniwa City Office
0867-42-1111
URL: <https://www.city.maniwa.lg.jp/>

真庭市消防本部・消防署 Maniwa Fire Station
0867-42-1190

真庭警察署 Maniwa Police Station
0867-44-6110

河川が氾濫した際の浸水継続時間については岡山県のHPで確認することができます。
URL: <https://www.pref.okayama.jp/page/548036.html>

洪水・土砂災害の特性 情報の伝達

洪水の特性 避難時の正しい安全確保について知っておこう!

川に近づかない 増水した川は大変危険です。河川のライブカメラを国や県のホームページから確認できます。

立退き避難が基本 浸水区域の外または、近くの高い建物に早めに避難。

屋内安全確保 浸水がすでに始まり、逃げ遅れた場合は浸水の深さや建物の高さにより2階以上に避難。

避難時の注意点 地下は危険! すぐに避難! 避難の時は足元注意! 短時間の大雨で地下に水が流れ込んだ場合、少しの浸水でも水圧でドアが開かなくなったり階段を上がれなくなります。

土砂災害の特性 土砂災害の危険性と避難行動について知っておこう!

1 かけ崩れ 地中にしみ込んだ雨水などにより地盤が緩み、弱くなった斜面の土砂が突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで大きな被害が出る災害です。

2 土石流 長雨や集中豪雨などによって、大量の土砂が水とともに一気に下流へと流れ出し、家屋や道路を押し流す災害です。速度も速いので、大きな被害をもたらします。

3 地すべり 斜面が地下水などの影響によって、斜面下方へゆっくと動き出す現象です。比較的緩やかな斜面でも起き、一度に広い範囲にわたって滑り出し、家屋や道路を押しつぶす災害です。

2種類の土砂災害警戒区域

- 土砂災害特別警戒区域** 建物や人が命を失う恐れがある区域。
- 土砂災害警戒区域** 土砂災害の恐れのある区域。

逃げ方は、立退き避難が基本

土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域は崩れるまでに早期に安全な場所まで立退き避難。

避難のポイント

- 土砂災害の場合、流れからできるだけ離れ、土砂の流れとは垂直方向に逃げる。
- 流れと垂直に

屋内安全確保

土砂災害がすでに起こってしまい、逃げ遅れた場合は建物内の高い場所へ避難。

避難のポイント

建物の2階以上の斜面と反対側の部屋や近くの丈夫な建物の上階に避難。

ハザードマップを確認【災害リスクを確認しておこう!】

自分の住む地域の浸水エリアを知る

裏面のマップでは、洪水が起きたときに想定される被害を確認することができます。自分や大切な人たちが普段いる場所の浸水の深さを確認し、浸水の深さに合わせた避難をしましょう。

わが家の浸水想定

職場・学校などよくいる場所の浸水想定

山沿いは要注意!

土砂災害警戒区域

2階屋根以上が浸水 (5m以上)

2階屋根まで浸水 (3~5m)

2階床下まで浸水 (0.5~3m)

1階床下まで浸水 (0.5m未満)

注意!

周囲の地面よりも低くなっている道路は、地形的に雨水が集中しやすいため、大雨・洪水時に侵入すると危険です。

正しい避難行動を確認【事前に避難先を決めておこう!】

「どのタイミングで」「どこに」「どうやって」避難する?

避難場所は小学校!

わが家の緊急避難所

家族の集合場所

浸水しない安全な場所へ

外が明るいうちに雨が強くなる前に!

安全な避難経路と時間が確保されているときは、外が明るいうちに必ず避難

すでに外が危険な場合

- 暗くなっている
- 大人の腰まで浸水している
- 道路と水路の区別がつかない
- マンホールが見えない 等

すでに外が危険な場合

今いる建物の2階以上または近くの安全な高い建物へ

高いところへ避難!

一階建ての建物からは避難!

あわてず、その場にとどまり安全確保

地下は浸水想定が低くても避難!

事前に決めておこう! わが家の「マイ・タイムライン」

いつ	だれが	なにをするのか
周囲の状況	警戒レベル	気象情報 避難情報
晴れ・曇り	警戒レベル 1	早期注意情報 (気象庁が発信)
強い雨	警戒レベル 2	洪水注意情報 (気象庁が発信)
激しい雨	警戒レベル 3	高齢者等避難 (市町村が発信)
非常に激しい雨	警戒レベル 4	避難指示 (市町村が発信)
猛烈な雨	警戒レベル 5	緊急安全確保 (市町村が発信)

大雨になるまでに、避難前に確認すること

避難する時に注意すること

住民の皆さんのとるべき行動
●最新の気象情報等入手する。
●ハザードマップ等で避難行動を確認。
●土砂災害警戒区域等や上昇の恐れがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第避難開始。
●高齢者等は速やかに避難。
●速やかに避難してください。
●危険な区域から少しでも安全な場所に速やかに避難。
●道路冠水や土砂崩れにより、避難が困難になっている恐れがあるため、この状況になる前に避難を完了しておく。
●立退き避難が難しい場合は、垂直避難など少しでも命が助かる避難行動をとる。

命を守るための最善の行動を取ってください